



駒林小 学校便り

令和3年度
2月号
1月31日発行

授業力の向上を目指して

校長 西尾武泰

寒いといいながらも暦の上ではもうすぐ立春です。晴天の日に降り注ぐ日差しは明るく温かく、日も日一日と長くなっており、季節が着実に春に向かって移り変わっていると感じます。大人が身震いしてしまうような寒風の中でも、休み時間、元気に外に飛び出していく子どもたちの姿を見ていると、春に向かって明るさを増す太陽のように、力強く成長する子どもたちの溢れるエネルギーを感じます。先日、私が登校時に南門で子どもたちの見守りをしていると、子どもたちの方から「おはようございます。」と挨拶をしてくれました。それに答えて私も「おはようございます。いつも元気な挨拶をありがとう。」と挨拶を返すと、「校長先生こそ、いつも見守ってくださっていてありがとうございます。」と返答する児童がいました。春に向かうように心がとても温かくなるような出来事でした。

本校では今年度、教職員の授業力を向上させるために「主体的に取り組む態度を育むための魅力ある授業づくり～ICT 機器を効果的に活用した授業実践～」というテーマを決めて全員が研究授業をしてきました。先月、6回目の授業研究会が行われ本年度の研究授業の全てが終了したところです。授業をするにあたっては、授業者は教材研究をしっかりと行い、この授業で教えるべきことを頭に入れ、どのような授業を展開していくかの構成を練ります。そして、同学年や先輩教師に相談したり、グループで検討をしたりして、たくさんの準備をしてから当日を迎えます。授業当日はそれぞれの教科や分野の専門の講師を招いて授業を見てもらい、その後の研究会でたくさんのアドバイスをもらいます。GIGA スクール元年として、様々な場面で ICT 機器を活用してきましたが、ICT 機器の活用方法は正しいか、教科のねらいは達成できていたかなど、授業後の研究会では毎回活発な理論が展開されましたし新たな課題も発見することが出来ました。これからも授業力向上を目指し、子どもたちにとってわかりやすく楽しい授業を展開できるよう努力をし、今年度の研究の成果を来年度にもつなげていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの対応として大切なことは「発症者の早期把握」と「感染拡大防止」です。早期把握についてはご家庭での協力が必須です。毎朝の検温を励行し、少しでも異常がある場合は大事を取ってご家庭で様子を見て、必要に応じて受診していただきたいと思います。学校では感染拡大防止のために、予定していた授業や行事を変更したり中止したりすることもありますので事情をご理解いただくと共に、ご協力をお願いいたします。